

対馬市告示第5号

令和3年第1回対馬市議会臨時会を次のとおり招集する

令和3年1月29日

対馬市長 比田勝尚喜

1 期 日 令和3年2月5日(金)

2 場 所 対馬市議会議場

○開会日に応招した議員

坂本 充弘君

伊原 徹君

長郷 泰二君

春田 新一君

小島 徳重君

吉見 優子君

渕上 清君

黒田 昭雄君

小田 昭人君

山本 輝昭君

波田 政和君

小宮 教義君

齋藤 久光君

初村 久藏君

大浦 孝司君

大部 初幸君

作元 義文君

上野洋次郎君

小川 廣康君

令和3年 第1回 対馬市議会臨時会会議録(第1日)

令和3年2月5日(金曜日)

議事日程(第1号)

令和3年2月5日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度対馬市
一般会計補正予算(第13号))
日程第4 議案第1号 令和2年度対馬市一般会計補正予算(第14号)
日程第5 議案第2号 工事請負変更契約の締結について
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度対馬市
一般会計補正予算(第13号))
日程第4 議案第1号 令和2年度対馬市一般会計補正予算(第14号)
日程第5 議案第2号 工事請負変更契約の締結について
-

出席議員(19名)

- | | |
|------------|------------|
| 1番 坂本 充弘君 | 2番 伊原 徹君 |
| 3番 長郷 泰二君 | 4番 春田 新一君 |
| 5番 小島 徳重君 | 6番 吉見 優子君 |
| 7番 淵上 清君 | 8番 黒田 昭雄君 |
| 9番 小田 昭人君 | 10番 山本 輝昭君 |
| 11番 波田 政和君 | 12番 小宮 教義君 |
| 13番 齋藤 久光君 | 14番 初村 久藏君 |
| 15番 大浦 孝司君 | 16番 大部 初幸君 |
| 17番 作元 義文君 | 18番 上野洋次郎君 |
| 19番 小川 廣康君 | |

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	阿比留伊勢男君	次長	國分 幸和君
課長補佐	梅野 浩二君	課長補佐	柚谷 智之君

説明のため出席した者の職氏名

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	永留 和博君
総務部長	有江 正光君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	桐谷 和孝君
しまづくり推進部長	武末 祥人君
観光交流商工部長	二宮 照幸君
市民生活部長	乙成 一也君
健康づくり推進部長	松井 惠夫君
農林水産部長	佐々木雅仁君
建設部長	伊賀 敏治君
水道局長	立花 大功君
教育部長	阿比留裕史君
中対馬振興部長	波田 安德君
上対馬振興部長	森山 忠昭君
美津島行政サービスセンター所長	瀧川 昌浩君
峰行政サービスセンター所長	扇 明宏君
上県行政サービスセンター所長	原田 勝彦君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	阿比留 裕君
監査委員事務局長	御手洗逸男君
農業委員会事務局長	庄司 智文君

午前10時00分開会

○議長（小川 廣康君） おはようございます。

報告します。古里福祉保険部長から欠席の届け出がっております。

ただいまから令和3年第1回対馬市議会臨時会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、議場の換気のため、出入り口を開放して会議を運営することといたします。

定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

日程に入ります前に、1点報告をいたします。地方自治法第180条第2項の規定に基づき、議会の議決により指定された2割以内の工事請負変更契約の締結2件の専決処分の報告がっております。タブレットに掲載しておりますので、御高覧いただきたいと思います。

市長から挨拶の申し出がっておりますので、これを受けます。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。臨時会の開会に当たり一言御挨拶を申し上げます。

本日、ここに令和3年第1回対馬市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員皆様には、御健勝にて御出席賜り、衷心より御礼申し上げます。本臨時会におきましては、予算に係る専決処分の承認1件、令和2年度一般会計補正予算案件1件、変更契約の締結1件、合わせて3件について御審議をお願いするものでございます。

その内容でございますが、間もなく国内においても開始される新型コロナウイルスワクチン接種事業、1月3日に開催を予定しておりました成人式については、島内における新型コロナウイルスの感染リスクを低減するため、やむなく延期の判断をさせていただきましたので、その協力に対する特別給付金事業、そして、このたび国の事業採択を受けました浮体式洋上風力発電事業による脱炭素化ビジネス促進事業でございます。加えまして、1月16日、県内全域への特別警戒警報の発令とともに、飲食店などに対する営業時間短縮の要請が行われ、この要請に応えていただいた事業者への協力金支給事業の関係予算については、議案資料のとおり専決処分させていただいております。

内容につきましては、後ほど担当部長に説明させますので、よろしくお願い申し上げます。

また、2月2日には、10都府県に対し、3月7日を期限に緊急事態宣言が延長されたところであります。沖縄県での離島では、現在、島内の医療提供体制が逼迫し、自衛隊派遣の事態となっております。これを対岸の火事とせず、引き続き、感染予防、感染拡大防止に努めてまいりますので、御協力をお願いいたします。

以上、開会に当たっての挨拶といたします。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（小川 廣康君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によって、波田政和君及び小宮教義君を指名いたします。

日程第2. 会期の決定

○議長（小川 廣康君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、配付しております会期日程案のとおり、本日1日限りとしたと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本臨時会の会期は、本日1日限りに決定いたしました。

日程第3. 承認第1号

○議長（小川 廣康君） 日程第3、承認第1号、専決処分の承認を求めることについて（令和2年度対馬市一般会計補正予算（第13号））を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） ただいま議題となりました承認第1号、専決処分の承認を求めることについて、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

本案は、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第13号）を、去る1月18日付で地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるところでございます。このたびの補正は、新型コロナウイルス感染症対策に係るものでございます。

予算書3ページをお願いいたします。

第1条、第1項、歳入歳出予算の補正でございますが、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第13号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億8,316万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ363億2,479万2,000円としたものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表、歳入歳出予算補正」によるものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について御説明いたします。

8ページをお願いいたします。

疾病予防対策事業費等補助金97万6,000円、及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1,818万8,000円をそれぞれ15款の国庫支出金2項国庫補助金に追加しております。

16款県支出金2項県補助金は、新型コロナウイルス感染拡大防止営業時間短縮協力金補助金1億6,400万2,000円を計上しております。

続きまして、歳出について御説明いたします。なお、歳出につきましては、別途参考資料をタブレットに掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

4款衛生費1項保健衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種に係るコールセンター設置のための職員3名分の人件費97万6,000円を計上しております。

7款商工費1項商工費は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、県からの営業時間短縮要請に応じた市内飲食店などに対する協力金並びにその支給に係る事務費、合計1億8,219万円を計上しております。なお、10ページ、11ページに、補正予算給与費明細書を添えてございますので、御参照方よろしくをお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明を終わります。御審議の上、承認賜りますようお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 説明が終わりました。これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから、討論、採決を行います。

承認第1号、専決処分の承認を求めることについて（令和2年度対馬市一般会計補正予算（第13号））について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり承認されました。

日程第4. 議案第1号

○議長（小川 廣康君） 日程第4、議案第1号、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第14号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） ただいま議題となりました議案第1号、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第14号）について、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

このたびの補正は、環境省の委託を受けて実施いたします浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業及び新型コロナウイルス感染症に係る事業の経費を計上するものでございます。

予算書の3ページをお願いいたします。

令和2年度対馬市一般会計補正予算（第14号）は、次に定めるところによることを規定し、第1条、第1項、歳入歳出予算の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,554万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ363億8,033万2,000円とするものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表、歳入歳出予算補正」によるものでございます。

第2条、繰越明許費は、地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費を、6ページから7ページの「第2表、繰越明許費」によるものとし、今回の補正計上事業のうち、2つの事業を繰越明許費に計上するものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について御説明いたします。

10ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、15款国庫支出金2項国庫補助金は、疾病予防対策事業費等補助金971万3,000円の追加、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1,791万7,000円を計上しております。3項委託金は、浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託金2,791万円を計上しております。

続きまして、歳出について御説明いたします。なお、歳出につきましては、別途参考資料をタブレットに掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

12ページをお願いいたします。

2款総務費1項総務管理費は、浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業に係る経費、合計2,791万円を計上しております。

4款衛生費1項保健衛生費は、新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る経費、合計

971万3,000円を計上しております。

10款教育費5項社会教育費は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開催を延期いたしました対馬市成人式において、出席予定であった新成人に対する特別給付金の給付に係る経費、合計1,791万7,000円を計上しております。

なお、14ページから17ページにかけて、補正予算給与費明細書を添えてございますので、御参照方よろしく願いいたします。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明を終わらせていただきます。御審議の上、御決定賜りますようお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 説明が終わりました。これから質疑を行います。12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） この補正予算第14号についてお尋ねいたします。

この中の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について、まず6点ぐらい先にお尋ねいたします。

やっと市民が待っておりましたこのコロナワクチンが始まるわけでございますが、この確保事業ということですから、これを基本ということになるかと思うんですけども、このような確保事業がこれから始まる、市民向けの4月か5月ですか、始まる分についての基本的なものとなるのかという点です。

それと、2点目ですけども、1月の13日に新しい感染者が対馬で10例目ですか。それからずっと続いて、1月の26日まで17例目、6人になるかと思うんですが、この方の現在の入院とか宿泊療養とか、そのようなものが現在どのようになっているのか。

併せて、県の体制がフェーズ1から4ございますが、どの位置にあるのかという点です。

そして、3点目でございますが、今回のワクチン接種は、接種をする対象者、接種を受けられる方はどのような人になるのかという点です。

次ですけども、その時期についてですが、ワクチンは、御案内のとおり、打った後、21日後ぐらいに再度2回目というふうな接種になるかと思うんですが、今回のこの時期はいつまでになるのかという点です。そして、次の点でございます、5点目でございますが、このワクチンの種類、どのようなワクチンの種類なのか。この製薬メーカーはどのようなメーカーなのかということです。それと、よくテレビでワクチンの製造過程が流れるんですけども、その中で映像によく映るのは、小さいこの瓶に入った何とかというそうですが、この1つの瓶に大体、メーカーによって違うでしょうけども、今回採用するこの薬品の種類からすると、あの小さい瓶に大体何回ぐらいの接種の能力があるのかという点です。

それと、このワクチンの運搬方法、これテレビではよく、マイナス75度以下ということですが、その対馬においては、これを誰が確保するのかということです、そして、その費用はどうか

るのか、そして、その数はどのぐらいになるのかという点です。先にそれをお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。小宮議員の質問にお答えいたしますけども、コロナワクチンの接種事業につきましては、ワクチンの調達、供給を国が行い、都道府県と市町村が連携をして行う国家プロジェクトとも言える事業であります。

本市においても、接種を希望する全ての市民に対し、円滑に接種事業が進められるよう、その体制強化のため、去る2月1日付をもって、職員の異動も行っております。

そのような中、国、県、そして、市においてもまだまだ詰めていかなければならない課題もございますけども、この現状も含め、先ほどの議員の質問につきましては、担当部長のほうから答えさせていただきます。

○議長（小川 廣康君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 小宮議員の御質問にお答えさせていただきます。

まず、ワクチン接種体制確保事業が今後の基本になるのかということですが、この事業で今後の接種体制等を整えていくこととなります。

それから、2点目の1月中に発生いたしました対馬市内での感染者の件でございますけれども、1月13日から26日までの間に、合計8名の感染者が確認されております。これで、感染者が4名、当時、フェーズが1で4床が確保されておりました。最大で4名入院という状況が発生いたしましたして、1月26日にフェーズ1から2へアップしております。それによりまして、確保病床数は4床から12床となっております。29日に入院患者がゼロになっております。宿泊療養所の入所者につきましても、現在はいないと聞いております。それによりまして、2月3日に県のほうがフェーズ2から1へフェーズダウンいたしましたして、確保病床数は、今現在4床というふうになっております。

それから、今回のワクチン接種の対象者についてですけれども、全国民が対象となるということになっております。今現在、薬事承認前ということで、承認後に厚生労働大臣が対象者を指定し、接種の指示を行うこととなっております。

今回のワクチンは2回接種ということで、21日の期間というお話がございましたけれども、1回目を接種して21日後に2回目の接種をするということになっております。

ワクチンの種類という御質問ですけれども、ワクチンは、今現在、ファイザー社、アストラゼネカ社、武田モデルナ社の3種類を確保予定というふうに聞いております。現在、薬事承認前でありまして、予定の情報ですが、一番早く供給されるであろうファイザー社のワクチンですと、1つの瓶、1バイアルですがこれで6回分と、最小の流通単位は195本と聞いております。

それから、ワクチンの運搬方法ですけれども、この超低温冷凍庫につきましては、国のほうが

購入し、自治体のほうに配付するということになっております。費用は全額国が負担いたします。ワクチンは、卸業者が指定された納入先に配送することとなっております。対馬市には3台の超低温冷凍庫が配付される予定となっております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） この前の感染者については、今は入院の患者はゼロということですね。分かりました。

それと、このワクチンの対象者なんですけど、当然のごとく全市民になるんですけども、今回のこの確保事業についての対象者、医療従事関係者などがよく言われるんですけど、あらかたの予定があらうかと思うんですけど、この対象者はもう一度回答をお願いしたいと思います。

それと、このマイナス75度で保存する冷蔵庫というのは、対馬には3か所ということですよね。分かりました。

次なんですけれども、この予算書の中で、医者などに委託が入っておりますが、この委託先はどこに委託されるのかという点が1つ。

このワクチン接種3か所ということなんですけど、場所は、どことどことこの3か所なのか。基本的なことは、これを基本にやるということですから、どの3か所なのかということなんです。

それと、当然、市が直営する診療所が約16か所ほどあろうかと思うんですけど、やっぱり市民の方が近くに行けるということからすると、この診療所とか、そういうものの活用が必要かと思うんですけど、このような活用は考えていないのかというのが一つ。もう一つは、民間の医院がございまして。そういうところの民間の医院の活用はどのように考えておられるのかという点です。

以上、お願いします。

○議長（小川 廣康君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） まず対象者につきましてですけども、全国民が対象ということで、今現在、薬事承認前ですけども、16歳未満については対象にならないのかなという話も聞いておりますけど、正式には何っておりません。

それから、医師等の委託料はどこに委託するのかということでございますけれども、これは、長崎県企業団病院の対馬病院と上対馬病院、それから、対馬医師会の会員の個人の医院、それから、非会員医院にも協力を依頼するように考えております。

それから、ワクチンの接種の場所の3か所、場所はどこかという御質問ですけども、今後、接種券発送等に併せまして、ワクチン接種の市民の皆様方の希望等の調査を行いながら、具体的な接種場所を検討していきたいと考えております。

診療所の活用はできないかという御質問でございます。3密の回避や接種後の副反応に対する

対応を考えますと、待合室が狭い診療所での接種は厳しいのかもしれませんが、ある程度の広さが確保できる。そして、医師の対応が可能な診療所につきましては、医師と協議の上、診療所も活用していきたいと考えております。

民間医院の対応はどうかという御質問は、民間医院での個別接種につきましても、医師と協議の上、御協力をお願いしていくと考えております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） もう3回目で終わりですが、診療所とか民間の医院、これについては、今後検討を重ねるということでよろしゅうございますね。分かりました。

そして、昨日ですか、テレビ報道で皆さん御承知のとおりだと思うんですが、菅首相が、早ければ、この2月の中旬から始めたいと。一部の報道では1月の17日からという報道も流れたようでございますが、今回のこの確保事業において、1月17日からの分については、医療従事者ということで首相が言っておられましたけども——すみません、2月の17日です。この確保事業についても、その対応ができ得るのでしょうか。最後です。

○議長（小川 廣康君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 2月中旬から実施される医療従事者向けの先行接種、これにつきましては、長崎県内では、本土のほうの3病院の医療従事者が対象となります。対馬市内の医療従事者向けの優先接種はその後になると。早くても3月中の実施が想定されます。現時点では、その時期は未定ということになっております。

この医療従事者の先行接種につきましては、県のほうにおいて、接種体制の構築、調整を行うこととなっております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） まず質問に入ります前に、この臨時で補正を予算要求してくるということは、緊急性がないと補正は普通認めないというのが大前提にあらうかと思うんですが、最近、定例会前の臨時議会でよく出てきます。それも、ほとんど繰越予算に計上されております。こういった執行の在り方は私はいかがなものかと考えております。今回のやつも、まだ未確定な部分が多いわけですから、そこら辺でももう少し慎重にそこら辺は対応していただければなと考えますが。

それでは、もう一点ですが、これだけのコロナと、洋上風力は電力関係の仕事をするわけですから、委員会は省略しても結構ですが、担当部長にもう少し詳細な説明ができないものか。これは執行部なのか、議会側の運営の問題なのかはよく存じませんが、私は詳細にもう少し説明をし

ないと、市民の方が何を言っているんだと。聞き取りにくい部分も多々あるかと感じております。これは、今後のことですから、もしこういう事態が発生すれば、そういう対応をお願いしたいと。12月の臨時会の折にはしっかり担当部長が説明をなされました。今回もそのつもりで臨んだわけですが、全くありませんでした。今、12番議員の質問に対しても、正直言って、今放映を見られている方は何言っているのか分かんないと思います。わかりづらいです。

そこでお尋ねしますが、今コロナの予算のお話ですが、説明はありましたが、全くもってゼロ回答に等しい答えです。なぜかという、新聞報道、テレビ報道で大まかな部分は全て市民の方は知ってあるわけです、情報として。詳細についてはどうなのかというところが知りたいとかなんです。今の説明では、県のほうからの指示で動きますという話ですが、それはそうなんだろうが、そこら辺は、議会に臨むに当たっては、もう少し詳細なスケジュールを詰めてくるべきじゃないですか。臨時会で予算要求するわけだから、そこら辺の大まかなスケジュールは予定であっても明確にすべきだと考えますが、皆さんは、さっき新聞報道等と言いましたが、テレビをやっているようなことは全てそのとおりと考えられます、一般的には。ところが現実的になかなかそうはならないと。そうすると、市民の不安は少しまた増すんです。いずれはできるんだろうなということは、皆さん思っただろうが、それがいつなのかというのを知りたいわけです。

それで、3か所ということで、それは今からということでしたけど、本当なら補正予算を上げてくるわけだから、その段階で、今からアンケートとりますなんて悠長な話なんですか。

12月の臨時会のときに、事務費組みました。接種券を印刷します、接種券を配るための事務費がかかります。だから、臨時の補正でお願いいたしますということで、議会は議決しているんです。だから、そこら辺は使い方でしょう。アンケートするんなら、こういう流れであることは事前に、県なり国から流れてきてるわけだから、ちょっと印刷を待って、このアンケートのほうを先にやるとか、その手は幾らでもあったんじゃないんですか。12月の補正のときにその補正を組んだわけですから、どういうことでやりますという、診察券みたいなものを配るというお話ですが、今の話だと、まだ全然配る状態にはなっていないという理解になります。それで、今からやりますよという話でしょう。何のための補正組んでいるんですかというのが、私の考え方です。補正を組むなと言っているわけじゃなくて、もう少し迅速に動いていただかないと、市民の方が一番待っている事項なんです、ここの事項は。もっと説明を求めていきたいと思いますが、説明できますか。仮にそれが今確定的な要素がなくても、大まかに3月下旬とか月上旬とか、それで、65歳以上の方は何月までに2回目を終わりますよとか、大まかなスケジュール分かるでしょう。それも流れてきていないということであれば、この事業は、今回の補正は必要なくて、当初でいい話になりませんか、ということまで話は行くと思うんです。だから、もう少し明確な説明をお願いいたします。スケジュールに関する明確な説明です。

○議長（小川 廣康君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） スケジュールに関しましては、今のところ、一般の高齢者向けの優先接種から始まりますけど、これ自体が、早くて4月1日以降に始まるということを知っています。実質、それがどうなのかということも我々も分かりません。それにすぐ対応できるようにということで、今回補正予算を組まさせて、計上させていただいております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） 先ほどの説明で変わってくるでしょう。4月1日以降です。こちら辺はしっかり市民の方も情報として欲しいところじゃないかと思います。場所については、医者との関係もあるでしょうから、ここで明快な答えは求めませんが、そういったものについて、4月1日って、3月25日に今議会が一応予定で終わるんですよね。25日やったら、22日やったか。一応3月中に終わるんです。下準備は確かにあるかと思いますが、下準備は下準備でできるでしょう。だったら、この補正の必要性がどこにあるのかという、そこら辺の説明がないんです。時代的にはコロナですから、皆さん早くしてほしいよと、だから、この補正をというのは理解できるんです。しかし、今の説明やと、事務的には全く進んでいないし、補正をやった意味がどこにもない。そこら辺の甘さが少し垣間見えるように私は思うんです。

今言ったように、スケジュールがまだ全く未定という理解でいいんですか。市民の方が聞かれているから、はっきりそこら辺誤解のないようにお知らせをする必要がある。わざわざ広報で、まだ未定ですよという広報はできないでしょう。だったら、何らかの方法で市民にいち早く知らせる必要があるんじゃないかと私は考えますが、市長はいかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほども担当部長が説明いたしましたように、今現在、私のほうにも、まだまだはっきりとした情報が流れてきておりません。それと、また、先々週でしたか、医師会の方々にこの接種関係のお願いの会議をしたときに、私もその場に行ってお願いをしたわけですが、医師会のほうにも、まだまだはっきりとした情報が流れてきていないというようなお話もされてありました。ということで、私たちといたしましても、できる限り早く情報をつかまえて、分かり次第、市民の皆様にお知らせをしていくということに努力をしまいたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） もうこれ以上お尋ねしてもお答えはないみたいですから質問はやめますけども、希望を1つだけ伝えさせてください。

先ほどから言っていますように、この新型コロナにおいて大きな打撃を受けているのは商売人だけじゃなくて、個人の私生活も打撃を受けているわけです。それは目には見えないわけですから、そこら辺を付度したときに、しっかりした情報がないままに予算要求して、さも予算が議決されればできますよみたいな形を整えるのはいかがなものかと考えます。今回については、今からの議論もまだあるところですから、コロナについてはしっかりした対応を、そして、情報を流してください。そのために、わざわざさっき市長がおっしゃったように、3名の方の増員をされたわけでしょうから、ワクチン体制は、人員体制としては整えましたよと。あとは、上からの情報待ちというよりも、情報を自分たちがつかむという気持ちをまず持ってもらいたいです。下りてくるのを待っているんじゃないくて、どうなっているんですかというぐらい県のほうに尋ねることは可能でしょう。そういう情報もこの議会では報告の一つとして上げていただきたいというふうに思います。

それと別件でいいですか。浮体式洋上風力発電の件ですけど、これ詳細についてもう一度説明いただけますか。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） 長郷議員の質問にお答えいたします。

今回計上しております業務は、環境省が公募をしておりました洋上風力発電によるエネルギーの地産地消を目指す上に当たって、必要な各種調査、事業性、CO₂削減効果の見通しなどを検討する地域として応募して採択を受けた業務でございます。全国で本市を含め6自治体が採択しております。

今回この臨時議会でも計上となりましたのは、公募が繰越しを容認した公募でございまして、締切りが10月の20日でございました。採択されたのが、12月の9日で今回の計上とさせていただきます。

内容につきましては、洋上風力発電を設置するに当たって、再エネ海域利用とか、そういった面での各種調査をやる予定にしております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） 委託先は決まっているんですか。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） これは、環境省から対馬市が委託を受けております。共同事業者としまして、民間と一緒に申請をいたしてございまして、一緒に民間の会社、社団法人等々それぞれ仕事を分類をしまして仕事を受けるようになっております。それを含めての申請で採択を受けております。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。この項目が違いますから、あと1回、最後です。

○議員（3番 長郷 泰二君） 民間と共同申請すればそうですね。それは分かるんですけど、最後に何か逃げられたような気がするんだけど、会社名は要りませんが、どういった会社と何社ぐらいの協力を頂きながらこれを進めていこうとしているのか。せめてそのぐらいは報告いただけるんじゃないかと思いますが。

というのは、これは、洋上風力については、おっしゃったように全国でやっているし、五島市は先がけて今いろいろやってあります。前例もありますし、本市も当然取り組むべき事項と認識はしております。だから、やることにどうのこうじゃなくて、いつも言うように、新たな事業を立ち上げようとするときは、その目的なり方法論を一般市民の方に理解していただかないと、現場に入ったときにトラブルが考えられるということが想定されるじゃないですか。特に洋上ですから今回は、私が言うまでもなく、漁船等の航行等の問題も出てきます。漁期との問題も出てきます。そういったことを想定したときに、もう少し親切な説明はできないものかということ要望しているんです。

以上です。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） 対馬市が代表となり、共同実施者として4団体、調査、海況とか風況の解析を行う事業者、また、洋上風力での実績のある設備等の事業者、それと、地元の石油業組合、4団体で共同で申請をしております。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 長郷議員のほうからも御指摘がありましたように、市民の皆様に広く知っていただくためにも、これまで漁協関係、そして、海運事業者関係等を中心として、4回にわたってのゾーニング会議を開かせていただきました。その中で、関係漁協、そしてまた、海運事業者の皆様から意見を集約いたしまして、現在2か所程度に絞って事業を進めているところでございます。

今後も、また新たな場所等につきましても、皆様の理解が得られれば、広く採用をしてまいりたいというふうに思っておりますし、今、担当部長が説明しましたように、この事業につきましては政府も進めている、そしてまた、今から先のSDGsに大きく関連する事業でありますので、対馬市といたしましても進めてまいりたいというふうに考えているところでございますので、どうぞよろしく願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 2点お尋ねをします。

1点目は、コロナの接種関係ですけども、このことについては、今、小宮議員、それから、長

郷議員がお尋ねになられて、概要がある程度は明らかになったんですけれども、このことについては、長郷議員発言されたように、やはり議会に対する情報提供という点で、今、私たちが、議会が始まる前に情報を持っていたのは、このタブレットに載っている参考資料のみです。この点、今、質疑で明らかになったんですけれども、接種の場所とか、それから、時期とかいろんなことがあるんですけれども、その辺りやはり今の時点で分かっていることについては、何かやはり別途資料を口頭で説明されるか、あるいは資料でされるかしないと、質疑もしようもないし、なかなか議会で市民の方に知ってもらうような場にならないと思いますので、このことについては、やはり強く今後要望しておきたいと思います。

それで、問題は、情報周知については、市民へ知らせるのに、やっぱりその都度情報が明らかになったら、何らかの方法で、ケーブルテレビなり、あるいは回覧板で回すとか、やはりきめ細かな情報提示をぜひお願いをしたいということで、それを求めておきたいと思います。

具体的なことで1点だけお尋ねしますけど、接種の場所が一応3か所ということだけが今概要としては明らかになったんですけど、高齢者の方々が施設なんかに入っている方があります。こういうところに対しては、その3か所のところに出てきてもらうのか、それとも、施設に出向いて接種するのか、その辺りについての案は今のところどうお考えかということが1点。

同じように、16歳以上となると高校生が対象になります。これも、地区の場所に出向いていって接種するのか、それとも、効率的なことを考えると高校に出向いて接種するのか。その辺りについても、今の段階での市の案があればお聞かせください。

それから、今、高齢者のことについては、施設に入っていない方も、私が耳にした中では、コロナの接種があるそうだが自分たちはどこまで出向いていって受けられるんだろうかと。家族が連れていって受けさせる方はまだしも、独り暮らしの方とかいろんな方がおられますけど、そういう方に対する方策も考えておかなければいけないんじゃないかというふうに思いますが、その点はいかがでしょう。

それから、2点目です。成人式関係のことですけれども、一応延期ということで通知があって、ここでも延期に対する給付金が措置されたということは大変結構かと思います。それで、延期ということで打ち出されていますけど、今後の見通しです。コロナが落ち着けば実施されるのか、されるとしたらどの時期にお考えなのかということがもしあれば、今の段階での御答弁をお願いをしたいと思います。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） コロナの接種での高齢者施設に入所されている方についての接種について御質問ですけれども、今現在、高齢者施設のほうの関係者との協議等を始めて

おります。高齢者施設のほうに医師と看護師とスタッフと行って、そちらの施設内で接種できる方向で検討を進めさせてもらっております。

以上です。（発言する者あり）

失礼しました。高校生につきましては、今現在、高校のほうに同じく出向いてというふうには考えておりますけど、高校のほうとは協議はまだいたしておりません。今後そのような方向でしていきたいと考えております。

○議長（小川 廣康君） 教育部長、阿比留裕史君。

○教育部長（阿比留裕史君） 小島議員の延期後の日程はというふうな御質問でございましたが、現在、延期後の日程を検討している段階です。大まかな時期については、現時点でもまだ未定でございます。というのも、まだ新型コロナの感染状況の拡大状況は続いておりますし、11時から知事の記者会見はあるようですけども、長崎県でもそういう宣言が出されている自治体もあるというふうな状態ですので、その辺の感染状況を見極めながら、またワクチンの接種状況等も見極めながら、対象となる新成人が島外からも来られますので、そういうふうな状況の中で、そういう成人の方も参加しやすいというふうな時期を設定して、今後検討しながら時期を明確化させていきたいというふうに考えております。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） まずワクチン接種関係ですけど、今、一応高齢者施設と、それから、高校については検討しているということでしたが、高齢者の方々と、接種場所まで出向けるか出向けないか、そういう方々への対応はどうかということは答弁がなかったようにありますけど、確認をもう一回したいと思います。

それから、成人式関係は、一応今の答弁を聞く限りは、どの時期かで実施したいという方向での検討をされているということでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 高齢者施設に入所している以外の方につきましては、交通弱者もいらっしゃると思います。ということで、なるべく、今3か所ということで考えておりますけど、今後、それ以外にも箇所数を増やして、皆様方が受けやすい環境がつかれないかということは考えております。今後、箇所数が増えることもあるのかもしれませんが、これも医師等医療従事者との兼ね合いもありますので、なかなかちょっと非常に難しいところもあるのかなと思いますけれども、その辺は努力をしていきたいと思っております。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 今、部長から答弁があったように、交通弱者についての配慮、特に高齢者の方についての配慮は十分行っていただきたいことを要望しておきます。

それから、情報提供といいますか、それは十分徹底していただきたいということを重ねてお願いをしておきたいと思います。

一応成人式関係もあるという含みでお考えだということですから、その辺りも何か市民にもどの段階かで少し情報を出しておかれたほうがいいんじゃないでしょうか。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 15番、大浦孝司君。

○議員（15番 大浦 孝司君） 補正予算第14号のことで、先ほど質問がございました。浮体式洋上風力発電の考え方なんですが、菅総理が、日本は非常にこの問題について、温室効果ガスを排出する国として、将来の目標を2050年までにゼロにしたい、するという言葉がされております。ということは、自動車、これは電力と水素による動力、そして、電力は発電所の火力発電、これを石炭、石油については使わないというふうな方向になろうかと思えます。その一環が、今回洋上発電、浮体式ということですが、今から30年間の間にエネルギー革命をしようというふうな方針でいけば、九州電力豊玉事業所で行っておる火力発電をゼロにして、こういうふうなことやら、ソーラーのシステムを対馬全体で自力でそういうふうなカバーをするという方向に国は取り組む、そして、自治体もそれについていくという考えでいいんでしょうか。この始まりであると、そういうふうなことに考えますが、ちょっと市長の見解を、この事業に対して捉え方、お願いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今、大浦議員おっしゃられたように、2050年に排出ガスをゼロにするという目標に向かっていろいろと事業を計画されているものと、私も思っておりますし、その中で、具体的にはどのような形で進めていくかということは、また今後いろいろと協議がなされてくるものというふうに考えております。

そのような中で、ただ対馬市といたしましても、この今回のゾーニング計画やら、そういったところで積極的に関係事業者皆様の協力を頂かないことには、これらの事業が進めていかれませんので、まず、関係事業者皆様の理解を得た上で、将来的に対馬市といたしましても、政府が進める二酸化炭素ゼロの対策のほうにかじを切ってまいりたい。そのためのまた努力も、国や県と連携しながら進めてまいりたいという気持ちでおります。

以上です。

○議長（小川 廣康君） ほかにありませんか。11番、波田政和君。

○議員（11番 波田 政和君） 若干関連しますが、今の洋上について、さきの議会でもこの問題に採用するしないということは若干私も触れさせていただいている関係で再度聞きますが、今、市長はSDGsを中心に展開していくという話も出されましたが、この事業はいいとか悪いとか

ということじゃなくて、この臨時議会に出るということは前向きに考えてあると思うんですが、この事業って大きな事業なんですね、やらはると。ということは、これから議長が流れ上、委員会に付託なしでという口述言いますが、だから、ここで承認したということになるじゃないですか、この問題は。だから、そういった大事な問題なら大事な問題みたいに、もう少し、我々代表でございますので、その審議の機会をしっかりと頂くような形にならないと、今言わはる持続可能をメインに掲げるなら、相当な決意と思うんです。それは、単に臨時議会に出されてそうすかで済む問題じゃないんじゃないですか。だから、今、政府がやっていこうということを否定もしません。しませんが、対馬市として、私がさきの議会でこの話をしたときに、もう既にやっているんですよと、市長がああとき答弁してくだっていたらまた話は別なんです。そうじゃなくて、代表がそういう話がした後に、いろんな協力団体を入れながら、もう構想を実際やってきとるわけですから、今の話でいくと。だから、それも否定もしません。ということは、そんな大事なことです。だから、もっと議員さん方にもしっかりとした考えをまとめていただくような、次の対馬のことですから。聞きますと、そういう火力をなくして、そういったことに切り替えるのは重大なことです。だから、重大な案件なら重大な案件のように、みんなで考える時間を市長どうですか、与えてくれるような話ができればありがたいんですが、どうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 確かにおっしゃられるように、今、まず対馬のほうでそのような洋上風力発電が可能かどうかのまずゾーニングの関係で、その関係事業者の皆様の御協力を仰ぐために御意見等をお聞きしている段階であります。そして、また、恐らくこの後、これが済みますと、そこに入る関係発電事業者といたしますか、そういった事業者のほうが入ってくるものというふうを考えておりますけども、今の段階では、まずどのような事業者が入られるかということもまだ全然決まっております。そういう中で、今議員おっしゃられるように、このことについては、私もちょっと議会に対しての説明が少し不足していたなというふうに感じております。そういうことで、今後どういう形で進む方向で今市は向かっているのか。今現在このような事業に取り組んでおりますということを、今度、次期の機会に、全員協議会の中でもできましたら説明をさせていただければというふうに思います。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 11番、波田政和君。

○議員（11番 波田 政和君） 分かりました。それでは、決して念を押すつもりではありませんけども、今言った方向は分かりましたので、これからスタートするんだという感じで私は捉えたんですけども、国がやることだから、委託金だから、直接云々じゃなくて、全市民から見れば、国がしようが地方がしようが同じ税ですから、いつも税の話をしませんが、だから、中途半端にで

きんじゃないですか。その辺も含めまして、再度念を押したただけでございますので、調査してみたら分からないということじゃなくて、これだけのお金をだんだん増えていくわけですから、そのようなことを考えながら、我々も出された案件に対して、もうそれが終われば、後どうなるか分からないじゃどうもならんから、今市長が説明がありますように、前に進むならもう少し議会にもしっかりした話をしながら、意見も聞くという捉え方でいいんですね。分かりました。よろしく願いしておきます。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 今の波田議員と質問と関連をいたしますが、洋上発電に入ります。

先ほど市長の説明では、もう既に4回ぐらいの会議を各関係者と開いたというような話でございます。2か所ぐらいの場所の選定も今話があるということでございますが、やはりこれ大きな金で、補償問題も恐らく関わってくるというふうに思います。それで、対馬は西と東とありますので、今、聞くところによると西2か所というような話も聞いております。これ話ですから、私のほうははっきりした話ではありませんので分かりませんが、西2か所と東は全然というような今の話であります。私の考えでは、要望これはしたいと思いますが、やはり西と東というふうな方向で持っていただいて、ある程度の補償の問題も、それは民間業者でされるか、あるいは行政でされるか分かりませんが、そこら辺もしっかりしたものをして進めていただきたい。

先ほど波田議員もおっしゃいましたが、これは、部長のほうも言われました。環境省から市のほうに委託を受けたんだと。これは、今から市のほうで動いていくというようなことだろうというふうに思います。これ本当にいい事業ですから進めていただいて、漁業者とのそこら辺の関係もきちんとできるように、今から努力を重ねていただきたいというふうに思います。要望しておきます。

終わります。

○議長（小川 廣康君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定いたしました。

これから、討論、採決を行います。

議案第1号、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第14号）について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

引き続き続行してもよろしいですか、あと1件、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

日程第5. 議案第2号

○議長（小川 廣康君） 日程第5、議案第2号、工事請負変更契約の締結についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。農林水産部長、佐々木雅仁君。

○農林水産部長（佐々木雅仁君） ただいま議題となりました議案第2号、工事請負変更契約の締結について（林道大綱卯麦線災害復旧工事）の提案理由とその内容について御説明申し上げます。議案書の5ページをお願いいたします。

本議案は、林道大綱卯麦線災害復旧工事に係る工事請負変更契約を締結いたしたく、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

本工事の経過でございますが、令和元年度災害復旧工事として、指名競争入札により令和2年3月6日付で、対馬市上対馬町比田勝956番地12、株式会社大川建設工業代表取締役眞崎龍介氏と8,877万7,700円で当初契約を締結いたしました。工事着手後、豪雨により施工箇所ののり面上部が崩落したことに伴い、工事量の増及び工法等の設計変更が生じたため、令和2年12月1日に、同氏と1億4,552万6,700円で、第1回工事請負変更契約を締結いたしております。今回のり面工及び排水施設工等の設計変更により、第2回変更として1億5,241万9,300円で、去る1月22日に同氏を相手方とした工事請負変更仮契約を締結いたしております。ここに本契約を締結いたしたく、議会の議決を求めるものでございます。

工事の概要につきましては、6ページを御覧ください。

復旧工事長、49.0メートル、土工、8,463.0立方メートル、のり面工、3,014.3平方メートル、擁壁工、34.5平方メートル、舗装工、238.0平方メートル、排水施設工、62.0メートルでございます。

工事箇所につきましては、7ページと8ページの図面の着色部分でございます。

なお、工事量の増加に伴い工期を28日間延長し、令和3年3月26日までとしております。

以上、簡単でございますが、提案理由の説明を終わります。御審議の上、御決定賜りますよう
よろしく願い申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 説明が終わりました。これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定い
たしました。

これから、討論、採決を行います。

議案第2号、工事請負変更契約の締結について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

お諮りします。本会議における議決の結果、条項、字句、数字その他において整理を要するも
のがある場合、その整理権を会議規則第43条の規定によって、議長に委任願います。御異議ご
ざいせんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。よって、整理権は議長に委任することに決定いた
しました。

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

市長から挨拶の申し出がっておりますので、これを受けます。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 第1回対馬市議会臨時会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げま
す。

本日は、慎重に御審議いただき、全ての議案につきまして御決定賜りましてありがとうございます
ました。本臨時会で議決いただきました案件につきましては、市民皆様の生活と福祉の向上のため、
適正な事務処理に努め、速やかに対処してまいりたいと存じます。

今臨時会における議員皆様から頂きました貴重な御意見につきましては、市政に反映させるべ
く取り組んでまいりますので、今後とも御協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますけども、議員皆様をはじめ、市民皆様方の御健勝とますますの御活躍を祈念申し上げまして、閉会の挨拶といたします。どうもありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） 会議を閉じます。

これもちまして、令和3年第1回対馬市議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時16分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 小川 廣康

署名議員 波田 政和

署名議員 小宮 教義

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員